

第5回長野市総合計画審議会作業部会 産業部会 議事録（要旨）

月日 平成 17 年 12 月 27 日（火）

時間 午前 9 時 30 分から

場所 第三委員会室

<基本構想「施策の大綱（骨子案）」産業分野について>

部会長；各項目一括してご意見をお願いしたい。

部会員；良くできているが、ビジョンの顔が見えない。長野らしさとは何か。これからの産業を明確にした方が焦点が絞れる。

専門部会員；産業分野の候補を上げるのは今後の政策の中で必要だが、ここで焦点を絞るのは難しい。

専門部会長；総合計画は総花的にならざるを得ない。絞り込みは別の「産業振興ビジョン」で具体的なアクションプランとして定めていきたい。基本構想では「特色ある地域産業づくり」との表現になる。

部会員；諏訪は電子デバイス、伊那は電子部品、佐久は医療機器などの特徴がある。長野には知的技術を駆使したデバイス産業がいいと思う。長野市には工学部や高専など産学連携が生かせる環境がある。

部会員；長野は細密、精密なものが向いている。大学との連携でマイクロモーターを作るなど、既存のものでない新しいものづくりが必要。

部会員；市民と一緒に計画を動かしていく原動力となる分かりやすい言葉があったほうがいい。イメージできる言葉を何か一つか二つ入れたらどうか。

部会長；それは具体的に言うと何か。

部会員；例えば技術と技能はどうか。

部会員；長野ブランドを意図している言葉もあるが、実態としては量的に無いとブランドとして売れない。しかし、リンゴで言うと取れた地区で味の違いもある。生産者も消費者も、これが長野ブランドと納得する品質やネーミングが必要。

部会長；知的、技術と技能、長野ブランド、産学連携などの言葉が出ているが、広く見れば入っているし、具体的にという意見もあるが、いかがか。

事務局；基本構想は最上位計画の一番上の部分なので、どうしても理念や方向性になってしまうが、ワークショップで出た特徴的な文言は盛り込んだつもりである。具体的な絞り込みは、基本計画や担当課で作る個別計画になる。

部会長；他にいかがか。

部会員；全国的にはコンパクトシティという言葉があるが、長野市はどうするのか。

事務局；都市整備・土地利用部会で、「集約的な街づくり」という表現をしている。中心市街地だけでなく、それぞれの拠点地域が連携し、全体として集約的なまちづくりをして

いくという方向。

部会員；都市内分権の考え方や、中山間地域を含む地域に合ったまちづくりをどうしていくかというのは、総合計画との整合はどうなるのか。

事務局；都市内分権の「自分たちの地域は自分たちの手で」、「地域でできることは地域で」というような考え方は、後で説明する行財政運営の部分で出てくる。また、資料の土地利用構想の中でも地域の特性を活かした土地利用や地域別の方向性を記載している。

部会長；他にいかがか。

部会員；産業の活力ある長野市でもいいが、ほっとする長野市、暖かみのある長野市であって欲しいと思う。

専門部会員；観光としては、ほっとする長野市はいいが、全体として皆さんで合意できればいい。総合計画は進路をどう取るかということ。市が持っている素材をどう生かすか、素材がある上での見通しやベクトルがこの計画に求められていると思う。長野ブランドについては、老舗ののれんのように長野というイメージをずっと裏切らないものが必要。

部会員；善光寺という言葉はどこかに入らないか。

部会員；戸隠神社もある。観光の面では善光寺も戸隠も院、坊に注目してはどうか。

部会長；善光寺、戸隠などの言葉をどこかで入れる機会があればお願いしたい。

事務局；書き方の問題もあるが、基本計画の中で検討したい。

部会員；善光寺は宗教ということではなく、観光資源の一つとして記載すれば、こういうものを中心に長野市の観光振興をしていくというメッセージになるので、是非検討願いたい。

部会長；基本構想の中では具体名を入れると、なぜあれを入れて、これを入れないという議論になって難しいのでは。どの段階で表現するか事務局で検討してほしい。

部会員；長野市は官庁に元気が無ければ街が廃れてしまう所で、どんな産業がいいのかというのは難しい。農業は都市化が進んだ中で基幹産業としては厳しい。後継者がいないからどの計画にも後継者の育成が入っているのが現状。

専門部会員；長野市は中核市の中でも農家人口、農地面積が上位で、高齢化しながら農地を大勢の人で保全してきている。食料自給率は18%位だが金額では50%程あり、付加価値のあるものを小さな面積で作っていると言える。後継者難については、法改正で株式会社も協定を結んで農業に参入できるようになった。

専門部会員；林業は生産資源というより、環境資源として保全を打ち出しているのが現状。人材育成にも力を入れているが、林家としてやっている人がいない状態。

部会長；他に意見はないか。これで部会の意見としてよいか。

部会員；総合計画では個別具体の話は難しいと思うので、個別の話は産業振興ビジョンや観光ビジョンで具体的に記載し、個別の相手と話をしながら協力してやっていくというのがいいのではないか。

事務局；本日出た意見については、基本計画の中で盛れるものは持っていきたい。

部会員；みんながハッとするタイトルで感動を与えた方がいい。行政はもっとリスクを出して挑戦していい。安全・安心分野以外はもっと挑戦してもらいたい。ありきたりでない言葉を望む。

部会員；農業はこれから見直される必要がある。日本の農業は付加価値が高い。長野では、きのこなどの食品産業もあり、イメージとすればバイオテクノロジーかなと思う。この会議が柱を決めていい会議なのか、それを議論する場なのか分かりにくい。市民は何か柱があればそれに目を向けやすい。

部会員；行政がやるのか、企業がやるのか、大学がやるのか、誰がやるのかという話になる。長野には試験場や大学などの公的セクターが集積しており、それをコーディネートするのは行政の役割。

専門部会長；試験場などはこれだけ市内にあるので連携が取れるように政策の中で考えていきたい。総合計画では表現がどうしても制約されてしまうので、次の段階で産業振興ビジョンの中で議論していきたい。

部会長；では、事務局で本日の意見を整理してほしい。

事務局；本日の議論では、善光寺、戸隠、長野ブランド、知的産業、技術と技能、等の言葉が出たが、今後の基本計画の中で盛れるものは盛っていくという議論だったかと思う。具体的にここをこう修正した方がいいという意見が無ければ、これを原案としたいが、いかがか。

部会長；細かな部分は今後素案の検討の中でも修正できるということなので、一旦これを原案として審議会に上げてよろしいか。

一同；了承

<基本構想「施策の大綱（骨子案）」行財政運営関係の資料について>

部会長；都市内分権はどこかに入るのか。項目4のスリム化との整合は。

事務局；項目2の基本計画に向けた要素に都市内分権の推進を掲げており、ここでは地域づくりの内容。項目4は行政自体のスリム化の話で、財政が厳しい中、市民に提供するサービスを維持・向上するために、行政のコストを落としていく内容。

部会員；成果重視とは何か。

事務局；市民が満足するサービスとその検証のこと。

部会員；成果重視というよりは、「市民の満足のいく行政サービスと行政経営の継続的な革新」という意味合い、市民サービスをどんどん高めていくよ、という言い方がいいのでは。

事務局；趣旨はおっしゃるとおり。ご意見として検討したい。

部会員；「役割分担と協働によるまちづくり」の表現は、もっとソフトにした方がいいのでは。市民に求めても、市民は税金を払っており市がやるのが当然とならないか。皆が役

割を担いながら協働でまちづくりを進めましょう、という感じではないか。全体に堅いのでソフトに。

部会員；前回の「市民と行政のパートナーシップ」の表現の方がタイトルとして穏やかではないか。

部会員；タイトルでは確かに刺激的な感じはあるが、中身では敢えて厳しいことを書いておいた方がいい。大阪市のようにならない意味も込めて。

事務局；刺激的な表現はあるかもしれないが、今後 10 年の計画ということで敢えて新しい考えを盛っている。今後他の部会の意見も参考にしたい。

<その他>

事務局；(年度内の日程の説明)

部会員；この構想案は新年度予算に反映されるのか。

事務局；計画のスタートは 19 年度から。来年度はまだ基本計画の議論がある。19 年度予算でリンクできる部分はしていく。